第１回

　初めてのすくわくプログラムでは、平均台やフープ、長縄などを使ったサーキッド形式で、バランス力を鍛える動きを行いました。長縄の上を歩く動きでは、バランスを取るだけでなく、後ろ向きで進んだり、ケンパで進んだりと、一人ひとりが「こんな動きはどうかな？」と試行錯誤しながら取り組む姿が見られました。また、「手を広げた方がバランス取りやすいかも！」と子ども同士で気付いたことを伝え合う姿も見られ、友だちとの関わりの中で発見や学びを共有しながら活動を深めることが出来ました。初めは手順に沿って進む姿が見られましたが、「好きな所に行っていいよ。」という講師の声掛けをきっかけに、自分でやってみたい場所を選び、繰り返し挑戦する姿が増えていきました。















第2回

　今回は、鉄棒や斜めに設置した平均台に挑戦しました。活動の中で「下を見るよりも前を見た方が怖くない」ということに、自ら気付き、視線を変えながら挑戦する姿が見られました。また、バランスを取る難しさを感じながらも、繰り返し挑戦する中で少しずつコツを掴み、自信に繋げていました。線が引いてある場所しか逃げられない「線オニ」というゲームでは、遊びを進める中で「ここにももっと線を増やしたい！」という子どもたちの声が上がり、その発想を取り入れながら活動を展開しました。子どもたちの気付きや考えを大切にすることで、自ら遊びを展開し、主体的に楽しむ姿が見られました。